

令和3年度 第1回事故救済制度に関する専門部会

1. 日時：令和3年7月20日（火）19:00～20:00
2. 場所：神戸市役所1号館8階 福祉局大会議室
3. 議題

(1) 審議事項

- ① 部会長の互選
- ② 事故救済制度の方向性について
- ③ 給付金支給の判定について
- ④ 事故発生から支給までの流れについて
- ⑤ 事故救済制度委託事業者の選定について

(2) 報告事項

- ① 事故救済制度の実施状況について
- ② 今後のスケジュール（予定）

（○：委員 ●：事務局）

【審議事項①】 部会長の互選

- 審議事項①について説明

【互選の結果、窪田委員を部会長に選任】

【報告事項①】 事故救済制度の実施状況について

- 報告事項①について説明

○ 質問なし

【審議事項②】 事故救済制度の方向性について

- 審議事項②について説明

以下のア～カの方向性について審議

- ・ア 給付金と賠償責任保険の2階建て方式

○ 質問なし

※方向性について全員了承。

- ・イ 支給項目・支給額

○ 質問なし

※方向性について全員了承。

- ・ウ 保険料額等

○ 賠償責任保険に関しては、全国統一の保険会社パッケージの保険料ということだが、どこの業者でもあまり金額は変わらないのか。

- 前回は提案方式で事業者選定をしたが、今回は条件を固定して入札方式で行いたいという案を提示させてもらっている。今回入札方式となると初めての試みになるのでやってみないと分からないところはあるが、何らかの形での競争性は期待できると考えている。

○給付金はリスクをどういう風に計算するかで、価格に差が出る可能性は、そこそこあると思う。ただ賠償責任保険に関しては、かなりバリエーションは限られると思うが、それでも価格競争はあり得るのか。

●賠償責任保険においても、保険会社ごとに許可を別々に取っているので、おそらく金額に少し違いはあるかと思う。

※方向性について全員了承。

・エ 運用

○賠償責任保険に70%の方が加入されているが、30%の方は加入されていない。加入することによるデメリットはあまりないと思うが、あえて入らない理由について何か分かっているか。

●現時点では理由はつかめていない。色々工夫をする中で加入率は上がっていくかどうかを見ていきたい。また、機会があればその理由を調べたいと思っている。

○加入していない方の理由を確認するのは結構大変だろうが、機会を見つけてやってもらえればと思う。おそらく、すでに自身で賠償責任保険に入っている方もおられるんじゃないかと思う。この制度ができる前は、ご家族が心配して民間の賠償責任保険に加入したということは結構あったのではないかと思う。この制度が長く継続していくことで、この30%という数字も段々と小さくなっていくのではないかとも感じる。

※方向性について全員了承。

・オ GPS安心かけつけサービス

○GPSはアバウトで個人では探しづらいという話を聞いた。かけつけてもらわなくても、もっと家族が使いやすいようにできないのかなと思った。

○GPSは誤差が少ないはずだが、トラブルがあったのであれば、確認したほうがいいかもしれない。GPSは費用の割に利用者数が少ない。ただ、まだ始まって3年の制度なので、引き続きサービスを維持する方向で考えていった方がいいのかなという感じはしている。

※方向性について全員了承。

・カ コールセンター

○質問なし

※方向性について全員了承。

【審議事項③】給付金支給の判定について

【審議事項④】事故発生から支給までの流れについて

●審議事項③・④について説明

○質問なし

※各内容について全員了承。

【審議事項⑤】事故救済制度委託事業者の選定について

●審議事項⑤について説明

○今回、次年度からの3年間の事業者選定にあたり、GPSも基本的には現在と同じようなサービス内容で含めて、その中で価格が一番低い事業者を選ぶという認識でよいのか。

- GPSの契約は、この入札の中に含めるのか、それとも別契約とするのかは検討しているところであるが、GPSの費用については、現在は約定履行費用保険を適用しており、これは入札の条件という形で考えている。GPSの費用やコールセンター、制度運用に係る事務的な経費もまとめて一括での入札の形がいいのかなと考えている。

※内容について全員了承。

**【報告事項②】今後のスケジュール（予定）**

- 報告事項②について説明
- 質問なし